【資料４】

H30年度　行政評価（外部評価）実施スキーム（案）

7月下

1　外部委員（行革委）による事業レビュー実施の通知
【理事者】（資料1）

8月上～下

2　担当係長ヒアリング（現状把握）【企画課・財政課】
「現状、1番大事な仕事は何か？」
「敢えてスクラップするとしたらどの事業か？」
「それぞれ1個ずつ言え」…というレベル

3　リストの作成【企画課・財政課】（資料2）
①「どうしても残さなくてはならない事業」
②「切られても仕方のない事業」（20事業程度）

今後5年間の自主財源と外部調達資金のシミュレーション【財政課】
「現状維持」と「最悪」の2パターンを想定
『佐渡市の財政の現状』（A4表裏のわかりやすい１枚もの）
「このまま放置しておくと危険なので、皆様のご協力が必要なのでご理解とご協力をお願いします」「皆さんのご協力があれば、共同でまちづくりを進めていけば大丈夫です」
財政の現状の共有【全庁】【市民】
※職員全員が同じ説明ができること。議員と同じ考えの職員はいないか？

4　レビュー対象事業の決定【財政課】（資料3）
3②リストよりレビュー対象事業を決定（4～5事業）
※スクラップ対象ではあるが、外部委を論破できれば救済の余地はある
※当然、予算査定ではスクラップ勧告の対象となる

5　事業レビューにおける論点整理【財政課】（資料4）
「この事業に対してはこういう論点があるのではないか？」という、市から外部委員へ提供する資料（査定のポイント）

照合

「事業を切れ」と言われたときに「切れる事業」のピックアップ（20事業程度）【財政課】

6　レビューシートの作成【担当課】（資料5）
「予算額」「補正額」「合計予算額」「執行率」「繰越額」
「成果目標及び実績（アウトカム）」
「事業費投入の必要性」（そもそも必要な事業か？）
「事業の効率性」（無駄はないか？）
「事業の有効性」（効果が出ているのか？）
「点検改善結果」等
「事務事業評価シート」（花まる通信簿）の活用（？）

提供

9月下

7　外部委員による事業レビューの実施【企画課】
①事業説明【担当課】
「なぜこの事業が必要か」を説明
※説明方法は問わない。定められた時間内で説明
②評価シート（案）による採点【外部委員】

評価	評価の理由
A.もっと伸ばすべき	
B.現行予算額で継続	
C.いい加減にしろ。見直せ	
D.廃止以外ありえない	

8　レビュー結果（速報）の作成【企画課】（資料6）
担当課の事業説明後、委員より得た評価をその場でとりまとめ、担当課へ通知。

10月上

9　評価結果集計リストの作成【企画課】（資料7）
①評価シートに基づく整理（「評価結果」「外部委の評価」「外部委の評価の理由」）
②財政課査定への宿題
※事業レビューで「CまたはD判定」でも予算要求は可。ただし、予算査定時に集計リストに掲げられた課題について解決していることが条件

共有

10　評価結果集計リストに基づき、予算査定時時のヒアリング項目に設定【財政課】

11　予算査定において復活要求する場合、評価結果集計リストに掲げられた課題について解決することが条件